



民生委員 だより

児童委員



発行 伊勢原市民生委員児童委員協議会
編集 広報委員会

〒259-1188 伊勢原市田中348番地
☎0463 (94) 4711

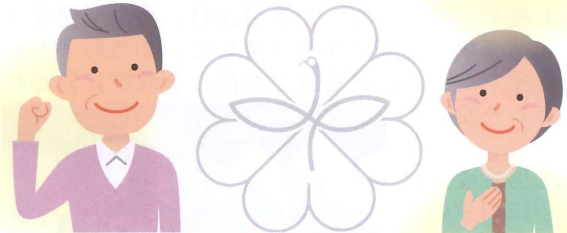
伊勢原市公営イメージキャラクター
クルリン

民生委員児童委員は地域の身近な支援者です



- 高齢でひとり暮らしや高齢者世帯で健康に不安のある方、非常時の避難が心配な方
- 親が寝たきりで認知症がある。対処の方法はあるか…?
- 障がいがあるがどこに相談すればいいか…?
- 子どもが生まれたが、近隣に親族や知人もなく何かあったら不安…
- いつも子どもを怒鳴る声がしている。夕方遅くになっても自宅に帰らない子どもがいる…

➡ 民生委員児童委員にご相談ください!



民生委員児童委員とは、厚生労働大臣から委嘱された無報酬で守秘義務を持つ特別地方公務員です。

地域の福祉に関するさまざまな問題の解決に向けて市や関係機関、関係団体とのつなぎ役として活動しています。

民生委員児童委員
(141人)

区域担当委員
(128人)

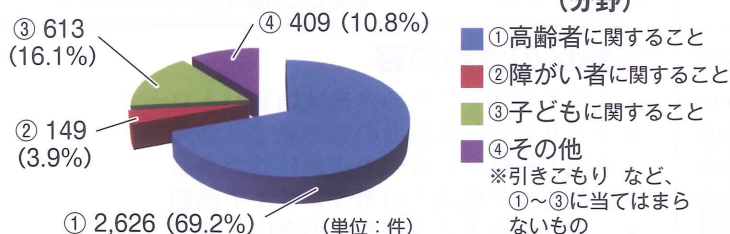
主任児童委員
(13人)

自治会単位を基本に配置しています。高齢者や障がい者、児童の生活上の相談など全般的に活動しています。

小学校区単位を基本に配置しています。児童を専門に学校や行政と連携して活動しています。

平成29年度活動実績

相談・支援件数 (3,797件)



平成29年度の活動実績は、福祉に関する相談・支援活動が合計3,797件あり、分野別では、高齢者に関することが2,626件、障がい者に関することが149件、子どもに関することが613件、その他が409件です。年間活動日数は総数で21,927日、一人当たり約160日です。近年の活動日数は160～170日で横ばいが続いています。



桜を觀賞する参加者
(社協主催の桜まつりへの協力)

道灌まつりでの
啓発事業



民生委員児童委員の連絡先

担当委員をお知りになりたいときは、事務局に連絡してください。

☎ 連絡先 伊勢原市役所 1階 福祉総務課(☎94-4711 内線1213)

伊勢原市民生委員児童委員協議会の活動

伊勢原北地区

障がい者支援施設を訪ねて

県立さがみ緑風園は、重度身体障がい者(主に肢体不自由)の方に安全で快適な生活の場を提供するとともに、地域の方々への各種支援を行う施設です。今回、民生委員として何が出来るかを学ぶため、地域との交流を心掛ける緑風園を訪ねました。



工芸グループの活動の様子を見学

その人らしい暮らしを目指し、一人ひとりの生活を大切にする取り組みがされていました。

伊勢原南地区

笑顔、思いやり、ぬくもりの高齢者施設

市内小稲葉にある特別養護老人ホーム『湘南けやきの郷』に訪問し、研修をしました。

施設職員による、①運営理念②入居定員(全て個室)③ショートステイ④デイサービス⑤居宅介護支援事業⑥



施設職員による説明

沿革⑦年間を通じたイベント及びレクリエーション等について説明を受けました。説明後、施設内を案内していただき高齢者に対する思いやりを感じました。

大山高部屋地区

高部屋児童コミュニティクラブ

夏休みも残りわずかとなった8月28日、高部屋児童コミュニティクラブの夏祭りがありました。60名の子どまと体育館でゲームに汗を流した後、2教室に分かれて一緒にカレーをいただきました。

午後から男性委員は将棋の相手に引っ張りだこ。無言でゲーム機を相手にする子どもが多い昨今、児コミの教室は昔懐かしい遊びの宝庫でした。



体育館でのゲーム

比々多地区

山王中学校の「あいさつ運動」へ!

山王中学校では、生徒の社会性の醸成を図るなどを目的として「あいさつ運動」を実施しており、PTA役員や自治会長、青少年指導員などと共に民生委員児童委員も協力しています。比々多地区の私たちが南門で生徒を待つと、大きな声であいさつしていく者、笑顔での者、恥ずかしそうに小声での者などさまざま。笑顔あふれる学校生活を願ってます。



次々、オハヨー! と登校する中学生(南門で)

成瀬地区

"救命の連鎖"を目指して

成瀬地区では毎年救命訓練などの研修を行っています。今年は消防署による応急処置法の中の胸骨圧迫、人工呼吸、AED、そして気道異物の除去法などを復習しました。重傷病者は救急車が来るまでの平均8分間に処置をしなければ、一気に救命の可能性が半減します。毎年行っているにもかかわらず皆緊張し、人命救助の難しさを感じながらも和やかに研修を終えました。



胸骨圧迫訓練

今年4月から幼保連携型認定こども園として開園した伊勢原立正幼稚園を見学しました。認定こども園には、一貫した幼児教育・保育を提供し、人間形成の基礎を培うとともに、子育て相談など、地域教育力向上を図るという役割があります。子育て家庭の支援において、認定こども園との連携が大切になると感じました。

大田地区

幼保連携型認定こども園の見学

今年4月から幼保連携型認定こども園として開園した伊勢原立正幼稚園を見学しました。認定こども園には、一貫した幼児教育・保育を提供し、人間形成の基礎を培うとともに、子育て相談など、地域教育力向上を図るという役割があります。子育て家庭の支援において、認定こども園との連携が大切になると感じました。



認定こども園を視察する委員たち

主任児童委員

小田原少年院 視察・研修会

主任児童委員は市内13人で構成される子育て専門のサポーターです。18歳までの子育ての悩みや心配事を関係各所と連携をし、支援を行っています。毎月1回の連絡会で情報交換や研修を行っています。

6月に実施した研修では、今年度閉鎖される小田原少年院へ行きました。大正時代から続く施設の取り組みに、歴史と子どもたちへの愛情を感じました。



大正時代を思わせる門の前で

各地区の活動内容

- ・小学生見守りのための地域防犯パトロール
- ・ひとり暮らし高齢者の方の見守り訪問
- ・高齢者や障がい者への声かけ訪問事業
- ・高齢者福祉施設でのボランティア活動
- ・災害時要援護者支援制度の案内・協力
- ・こんにちは赤ちゃん訪問への協力
- ・敬老祝品支給事業への協力
- ・共同募金(赤い羽根、年末助け合い)への協力
- ・社会福祉協議会賛助会員募集への協力
- ・紙おむつの配付に協力
- ・児童コミュニティクラブ運営に協力
- ・市の行事への参加・協力 など

広報委員会

委員長…足立武(大田)、各地区選出…多田源(伊勢原北)、中野菊夫(伊勢原南)、山田信昭(大山高部屋)、飯塚和男(比々多)、小関則男(成瀬)、武松智子(大田)、各福祉専門部会選出…今井啓二(高齢者部会/成瀬)、菅重男(児童部会/大山高部屋)、森山博(障害者部会/成瀬)、主任児童委員…山口由里(成瀬)